

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグクラブのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

攻撃的なDNAをもつ“湘南”は、自分にとって大きな挑戦だった。 Bellmare

現在チームに30歳代の選手は3人。
そのひとりMF下村東美選手。主にボランチとして守備陣の連携をはかり、果敢にボールを奪取する。クールな外見とは裏腹に、サッカーに賭ける情熱は人一倍熱い。「下を向いている仲間をほっておけない」。「和魂洋才」のキャッチフレーズそのままの素顔が垣間見えた。

下村 東美



Character

自身の性格をどのように分析しますか？

スイッチが入るとすごく熱くなります。それが長所であり短所である。短気なところがある反面、継続して努力することも好きです。

最近、年のせいかもしれないけれど、困っている仲間、元気がない仲間をほっておけないんです。故障でサッカーができないとか精神的に落ち込んでいる選手になんとか手を差し伸べられないか、助けてあげられないか。心配するだけでなく何か行動しないではいけない。ナーバスになっている相手には難しい部分もありますが、自分が若いときに年上の選手に声をかけてもらってうれしかったので、それを後輩に返していく時期がきたのかと…。ふだんからの声かけもそうですが、ケガで練習に出てこれない選手には、電話をかけたりしていますね。

また、優勝争いや降格争いのなかで培ってきた自分の経験を伝えることで、相手がなにかに気づけたり、1年に1段階ずつステップアップしていたことが、一気に3段上がる手助けになったらうれしいです。

初めて愛娘を抱いて入場した
栃木戦で今季、初ゴールを決
めた下村選手。この日は、
襦袢から両親も招いており、
モリアルなゲームとなった
メ札



Private

栃木戦では、今年2月に生まれた娘を抱いて入場しました。もう少し成長して「パパはサッカー選手なんだ」ということが記憶に残るようになるまで、プレーしていただきたいですね。それも長くサッカーを続けていく上での目標のひとつになっているかな、と思います。

休みの日は何を？

趣味はとくにないんですが、お風呂が好きです。休日は銭湯に行つて、サウナと水風呂のセットを楽しみます。“おっさん”みたいなんですけど(笑)

青貴監督は、セレッソ大阪時代のコーチでしたし、強化部長の大倉さんともセレッソと一緒にしました。湘南に加入するにあたっては、『若い選手が多いので、チームをまとめてくれる力を必要としている』と言われていました。責任は大きいけれど、クラブや監督から要求されていることにしっかり応えていきたいし、自分にとってはやりがいのあるチャレンジだと思っています。

いくつかのチームに所属してきて感じるのですが、選手の入替わりが激しい世界なのに、チーム独自のサッカーのスタイルというのは変わらないものです。湘南の攻撃的なスタイルにもチームのDNAが脈々と受け継がれているのを感じます。下部組織出身の選手が多いので、ジュニアやユースのころからそういう指導を受けてきたんだろうなと感じるし、そのDNAが染みついた選手たちが育ってトップチームで活躍しているのが素晴らしいと思います。僕は目を引くプレーヤーではないけれど、地道にチームを支え、またこのチームで新しい自分を表現したいと考えています。

Play

試合中の下村選手の役割を教えてください。

攻撃的なチームですから、いつも前に人数をかけているけれど、攻めているときほどいかにリスクマネジメント(危機管理)をするかを考えています。味方への指示やポジション取りで守備の安定をもたらしのが僕の役割です。得点を取るのと同じくらい大事なことです。試合の流れが良くないとき、後半の疲れが出てきたときには、ボールを落ち着かせてアクセントを入れたり、リズムを立て直すことを意識します。

もちろんチャンスがあれば、前に出て攻撃にも参加します。栃木戦(8/26)ではゴールを決めることができたけれど、ゴールでもアシストでも、もっと得点に絡むプレーをしていきたい。攻撃的チームの一員ですから。



Roots

サッカーとの出会いは？

オーストリア人の父はセミプロのサッカー選手で、父方の祖父もサッカーをやっていました。だから僕は3代目なんです。父の影響で幼いころから自然とサッカーボールを蹴って育ち、本格的にチームに入ったのは小学校3年生のときです。

お父さんは、なぜ日本に？

父の本業はパティシエで、北海道の洋菓子会社に菓子職人として迎えられ、日本での生活が始まったんです。僕は日本人の母とのあいだに生まれ、小さいときには、日本語とドイツ語の飛び交った家庭に育ちました。そのころはドイツ語も話していましたが、成長するにしたがってあまり使わなくなり、英語を勉強するようになってからはドイツ語を忘れ、英語のほうが不自由なく話せるようになってしまいました。

“東美(とうみ)”という名前の由来は？

オーストリアの世界地図は、本国が中央に描かれていて日本はその右(東)にあるんです。東の美しい国に生まれたから“東美”と名付けたそうです。あまりない名前ですが、呼びやすいと言われますし、いい名前をつけてもらったと感謝しています。

Profile

下村 東美(しもむら とうみ)
1980年12月18日生まれ(31歳) 北海道札幌市出身
2003年大阪体育大卒業後セレッソ大阪に入団。千葉、山形を経て今季湘南に移籍加入。強いフィジカルとテクニックでボール奪取に長け、広い視野から繰り広げるダイナミックな展開力も特長。若い選手のなかで、その豊かな経験がチームを安定させる。 181cm/76kg

天皇杯2回戦を沸かせた新戦力!

9月8日(土)に行われた第92回天皇杯2回戦。愛媛FCを相手に戦い、1-0で見事勝利しました。3回戦は10月10日(水)、柏レイソルと対戦します。



公式戦初出場となった高卒ルーキー亀川諒史選手

ケガから復帰。キャプテンマークを巻き、チームをけん引した猪狩佑貴選手



安定したプレーで無失点に抑え、自身の公式戦初勝利を飾ったGK松本拓也選手



京都戦に続いて2試合連続ゴールを決めた大槻周平選手。攻撃に、守備に豊富な運動量で勝利に貢献した

残り8試合。昇格争いも佳境!

今年のリーグ戦も残すところ8試合。2位以内でJ1自動昇格、3位~6位の4チームでプレーオフが行われ、勝ち残った1チームが昇格します。湘南ベルマーレは現在2位(32節終了時点)。残り1試合1試合に全力を注いで、全員で勝ち点3を取りに行きます。ぜひ競技場で熱い声援を送ってください!

●ホームゲーム試合日程

※会場はすべてShonan BMW スタジアム平塚

節	開催日	キックオフ	対戦相手
36	9月30日(日)	19:00	ロアッソ熊本
37	10月7日(日)	16:00	愛媛FC
39	10月21日(日)	16:00	ジェフユナイテッド千葉
*41	11月4日(日)	16:00	ガイナレ鳥取

*今季、ホーム最終戦